

2019年度 一般入学試験（後期日程） 総合文化学部 人間福祉学科 出題の意図

1. 実施状況

志願者数・合格者数

（社会福祉専攻）

志願者数	合格者数
12	4

（心理カウンセリング専攻）

志願者数	合格者数
17	3

2-1. 人間福祉学科 社会福祉専攻 アドミッション・ポリシー

社会福祉専攻では、以下のような志願者を求めています。

1. 将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分であると認められる人物。
2. 社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物。
3. 将来、アジアや太平洋地域をはじめとする国際的な場における支援活動に参加することを熱望する人物。

上記に加えて、A O型入学試験では、以下のいずれかに該当する学生を歓迎します。

- ・社会的マイノリティーの問題を自分の問題として考えられる人
- ・グローバルな視点をもつ人
- ・知的探求心と批判的な思考力を培い、積極的に社会に参画したい人
- ・他者の個性、多様性に寄り添い、他者と一緒に社会の状況を正しく認識し、問題解決のためのスキルを身につけたい人
- ・リーダーシップを発揮できる人。また、自分や他者を肯定的に捉えることができる人
- ・他者と協調、共創するコミュニケーション能力を持つ人

2-2. 人間福祉学科 心理カウンセリング専攻 アドミッション・ポリシー

人間福祉学科心理カウンセリング専攻は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通り具現化し、人間のころろに関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人物を求めます。

1. 人間の「ころろと行動」と「人と人とのつながり」について学ぶ意欲と関心を持つ人物。
2. 大学で学ぶことに強い意欲と関心を持ち、自ら学び、常に自己研鑽、自己成長に努める人物。（自分を成長させようという意欲と態度を持つ人）
3. 人間のころろや行動の成り立ち、働きについて、心理学的な立場からの確に理解し、日常生活に実践的に応用したいという真摯な態度を持つ人物。

A O型入学試験では上記に加えて、

- ①人間のころろについて科学的な視点（実験・調査・観察・統計など）から学ぶ意欲のある人
- ②これまでに意欲的に取り組んできた活動や得意分野が、大学で学びたいことに結びついている人を求めます。

3. 出題の意図

人間福祉学科は、アドミッション・ポリシーに明示されている通り、大学で学んだ専門知識および技術を活かして社会に貢献したいという意思を持った学生を求めています。大学で学ぶ知識や技術は、具体的には、人々が直面している様々な社会課題に対してその背景をしっかりと分析したり、解決に向けて計画を立てて行動したり、人と人とのつながりを広げたりすることを促進する知識や技術です。これらの知識や技術を学ぶためには、国内外の社会問題に強い関心を持って研究することや、自ら社会参画する行動力が期待されます。

本問題は、以上のことを踏まえて作成しています。本問の出題意図は、現代社会の特徴に関する受験生の基礎知識、課題解決に向けた論理的思考力や想像力、ユニークな発想を確認することにあります。換言すれば、現代社会の特徴を客観的な視点から文章にできているか、また、課題解決に向けて自らの考えを論述することができるかを確認することにあります。こちらか社会課題を例示していませんが、それは、受験生の皆さんが日ごろから国内外の社会問題に強い関心を持つ人物であるかどうか確認するためです。そして、可能であれば、受験生が社会参画や社会貢献に対して積極的な人物か確認するためです。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

ひとりひとりの人生が尊重され、誰もが心豊かに生きる社会をつくるためにも、ぜひ、日ごろから社会課題に関心を持ち、新聞や関連文献を読む習慣を持つことをお勧めします。また、解決に向けて実際にアクションをおこすことをお勧めします。